



Uwasamon うわさもん



益城の若もんも、がまだしょっぱい！

町でうわさの若者を紹介。
夢に向かって全力で進む若者を応援します。

頑張っているもの

弁論 speech contest

名前 うえむら かずよ
上村 和代 さん (17)

行政区 古 閑

熊本県立東稜高等学校3年生
平成25年度熊本県高等学校弁論大会(最優秀賞)
第63回九州高等学校弁論大会沖縄大会(最優秀賞)



弁論の技術と主張する内容を競い合う
高等学校弁論大会で、県大会、九州大会
で見事に最優秀賞の栄冠を手にしたのは、
県立東稜高校3年生の上村和代さん。

7年前、突然祖母に訪れた認知症を家
族全員が自宅で介護する中で、次第に強
くなる家族の絆。「家族全員が家族のため
に、自分のできることをする」をスローガ
ンに、家族全員で支えあって歩んだ軌
跡と家族が一つになった「奇跡」を「チー
ム上村の『きせき』」と題して持ち時間7分
間の中で主張した。伝えたかったのは家
族の絆。7月に開催される全国総合文化
祭(茨城県)弁論の部では、全国から選ば
れた30人の各代表の中で九州代表の一人
として出場する。「自分の想いを精一杯相
手に伝えることが一番大事。堂々と主張
します」と和代さんは語った。

普段は学校の吹奏楽部でパーカッショ
ンを担当する和代さんだが、中学時代は
県下でも強豪の益城中女子ソフトボール
部で活躍したという一面も持つ。「高校生
活最後の体育祭では、東稜名物マスゲー
ムの練習を頑張りました。成功をみんな
で喜んだ」と達成感を味わった。

そんな和代さんの将来の夢は、看護師
になること。「祖母の世話をするうちに、
介護と医療、人の命の大切さを知りまし
た。患者さんとその家族に信頼してもら
えるような看護師になりたい。そのため
に必要な資格を取得できるように進路を
選んでいきたい」と語ってくれた和代さん
は、将来の自分像をしっかりと見据え、
自信に満ち溢れていた。